

正誤表（現況分析（研究））

88：自然科学研究機構

No.	現況分析単位 (学部・研究科等)	頁数	誤	正	修正事由
01	01_国立天文台	p.1-7	別添資料 8801-i3-4： 再掲	別添資料 8801-i3-4 (赤字の部分を削除)	衍字があったため (該当箇所において初出の資料であるため)
02	01_国立天文台	p.1-13	2017 年度よりアルマ望遠鏡による太陽の共同利用観測が開始され、	2016 年度 よりアルマ望遠鏡による太陽の共同利用観測が開始され、	誤字があったため
03	03_基礎生物学研究所	p.3-5	…維持している。(別添資料 8803-i2-8) [2.3] (別添資料 8803-i2-8) [2.3]	…維持している。 (別添資料 8803-i2-8) [2.3]	衍字があったため (語句が重複していたため)
04	03_基礎生物学研究所	p.3-6	…獲得されており、総額対する外部資金の比重は…	…獲得されており、総額 に 対する外部資金の比重は…	脱字があったため
05	03_基礎生物学研究所	p.3-7	…比較して 152%に増加した。 また、独自の情報発信において重要となる公式ホームページについて、2018 年度にスマホに対応、2019 年度に常時 SSL 化(https)に対応した。 SNS では、Twitter、Facebook、YouTube を利用し、情報発信を行っている。研究活動の発信の中心として、研究所ホームページの改良を進めた。2018 年度	…比較して 152%に増加した。SNS では、Twitter、Facebook、YouTube を利用し、情報発信を行っている。研究活動の発信の中心として、研究所ホームページの改良を進めた。2018 年度にスマホに対応し、2019 年度に常時 SSL 化(https)に対応した。 (赤字の部分を削除)	衍字があったため (文章の重複があったため)

正誤表（現況分析（研究））

			にスマホに対応し、2019 年度に常時 SSL 化(https)に対応した。		
06	03_基礎生物学研究所	p.3-8	光学顕微鏡、電子顕微鏡、MRI、画像解析の最先端技術の最先端技術を提供し…	光学顕微鏡、電子顕微鏡、MRI、画像解析の最先端技術を提供し… (赤字の部分を削除)	衍字があったため (語句が重複していたため)
07	03_基礎生物学研究所	p.3-8	また、 <u>生物遺伝資源新規保存技術開発共同利用研究を第3期中期目標期間4年間で56件行い、…</u>	また、 <u>生物遺伝資源新規保存技術開発共同利用研究を第3期中期目標期間4年間で56件行い、…</u>	該当部分の下線の引き忘れがあったため
08	03_基礎生物学研究所	p.3-9	<u>第2期中期目標期間では15回の開催であったのに対し、第3期中期目標期間4年間で…</u>	第2期中期目標期間では15回の開催であったのに対し、第3期 <u>中期目標期間4年間で…</u>	該当部分の下線の引き忘れがあったため
09	04_生理学研究所	p.4-1	分析項目Ⅱ 研究成果の状況 …… 4-1 1	分析項目Ⅱ 研究成果の状況 …… <u>4-1 2</u>	実際の分析項目Ⅱの開始頁と異なる記載であったため。
10	05_分子科学研究所	p.5-3	(研究業績説明書、業績番号14)	(研究業績説明書、 <u>業績番号14</u>)	読点の表記統一
11	05_分子科学研究所	p.5-5	(指標番号27, 28, 別添…) (指標番号30, 別添…)	(指標番号27、 <u>28</u> 、別添…) (指標番号30、 <u>別添</u> …)	読点の表記統一
12	05_分子科学研究所	p.5-8	…変換・貯蔵、利用…	…変換・貯蔵、 <u>利用</u> …	読点の表記統一